

時事新報

明治十八年二月九日
第八百八十七號
日曜日休刊

時事新報

○**時事新報定額** (日曜日休刊)
 一次定額 一月 一元二角
 二次定額 三月 三元五角
 三次定額 半年 六元五角
 四次定額 一年 十二元
 以上各定額は、郵費別。日本郵政省郵便局に於ては、郵便代金として納入すべし。日本郵政省郵便局に於ては、郵便代金として納入すべし。

○**時事新報定額** (日曜日休刊)
 一次定額 一月 一元二角
 二次定額 三月 三元五角
 三次定額 半年 六元五角
 四次定額 一年 十二元
 以上各定額は、郵費別。日本郵政省郵便局に於ては、郵便代金として納入すべし。日本郵政省郵便局に於ては、郵便代金として納入すべし。

公報

○**農商務省第三號** 府 縣
 明治十八年(八月)第九號同年(十一月)第十四號當該達
 北滿鐵道住士族取扱方ノ儀第十七年度(會計年度)已滿
 軍省ニ移寄付同年度已滿鐵道止候條此旨官廳事務
 但十五十六兩年度ニ相當セシ戸數取扱方ハ從前ノ通
 明治十八年二月七日 農商務卿 西郷從道

紋任

○**明治十八年二月六日**
 正五位勳三等 中島 傳胤
 全 勳四等 小畑 美相
 從五位勳五等 何 禮之
 全 全 安藤 禮之
 正六位全 横田 善吉
 從六位 赤司 敬一
 勳四等 岩崎彌太郎

時事新報

○**日清事件ト佛清事件**
 昨年十二月朝鮮京城ノ變亂ニ於テ日本人ノ生命ハ多ク
 支那兵ノ手ニ墜リテ死シタルモノアリ朝鮮在留ノ日本
 公使及領事ノ身亦危シク引下リテ仁川港マテ退避
 ナルノ事ハ其時ノ朝鮮中ニ我國分支部兵ノ爲メニ

リタル公私同様に無形ノ損害甚大ニ決シテ居リト云
 フ可ラズ尤モ右變亂ノ折柄ハ朝鮮人ガ我ニ與ヘタル
 ノ損害モアリシコト付朝鮮人ノ咎ハ咎トシテ一面コソ
 談判ヲ開キ井上全權大使ノ一行並々京城マテ押出シ
 テ満足ナル掛合ナシ遂ク朝鮮國ヨリハ託狀ト價金ト
 ナ出シテ既犯ノ罪贖モ悉皆消滅シ今日我ト彼トノ間
 ハ交情常ニ復シテ却テ以前ヨリモ一入ソノ情ヲ温メタ
 ルノ實アルハ我輩ニ於テモ喜悅コノ上無キ次第ナリト
 ス故ニ昨年十二月ノ變亂ハ日清兩國交渉ノ事變ニテ
 清韓兩國ノ致害者ノ地ニ立テ日本ハ二國ノ爲メニ
 被害者トシテ今日ハ朝鮮ハ我ニ對シテ其致
 害者タルノ責ヲ償却ノ最良報告運轉ノ地位ヲ脱シテ
 今回事變ノ原告人タル我日本國ガ訴訟ノ被告人トシ
 テ取リ押ユベキ相手ハ唯獨清國政府アルノヨリ左
 レハ事變ノ本ハ日清兩國ノ事ニ關シテ朝鮮ガ
 一旦既ニ託狀ト價金ヲ納メタルカラコソ目下日
 本國ノ外交上ハハモハヤ朝鮮事件ト云フ爲難ナルレ
 ヲ答ハ無シタマハ眼前在ル所ノ事件ト致害者ノ支那國
 向テ談判ノ一線ナルノ故ニ我輩今日ハ於テ日本
 ノ外交上ハ朝鮮事件ナル者アルヲ知ラズ朝鮮事件ハ全
 ク落着キ歸シテ既ニ過去ノ事ニ歸シテ過去落着キ
 事ハ今日ハ又アラレ得ル道理ヲ見ズ今日ハ獨リ眼前
 ノ日清事件コソ實ニ時ノ大疑問ト中スベシ

○**福州ヲ出發シテ臺灣ニハ戰事既ニ始マラド**
 云フ杯支那ノ意氣込ニモ近頃以テ容易ナラザル次第ナ
 リ特ニ冬ノ漸ク過キ去リテ春ニ至ルニ近クシテ時節柄
 ナレバ軍サニハ最モ妙ナルベシ兩虎久シク爪牙ヲ練磨
 シテ氣力彌々活動シ斯レ佛清兩國ノ戰事見ル等ノ場
 合ニモナラバ其勝負モ一二箇月ニテ決シテ已ムマ
 佛清事件ハ實ニ世界現時ノ大疑問トナルベシ
 佛清兩國カクマテ互ニ死力ヲ盡シテ戰シタルレバ
 ト我ハ素ヨリ局外者ノ事ニテソノ勝負輸何ヨモ直
 接ノ損害アルニ非ズ隣リノ喧嘩決シテ妨ケナシト云フ
 ト雖モ支那國ニ對シテハ此節柄折リ懸シテモ我
 リ是非懸合ニ及ブベキ筋アルガ故ニ日清事件ト佛清事
 件ト斯ク同時ニ傷キ當リ又重ナリ合ヒテハ我ニ於テモ
 中スハ我國ガ彌々支那ト談判シテ直チテ直トシ曲トシ
 曲トシテ日本ノ難ムリタル損辱ヲ恢復シ以テ日本國ノ
 冤チ世界ニ雪メ同時ニ國權ヲ世界ニ張ラント思ヘバ
 我輩ハ一刻モ早ク支那談判ノ實行ヲ希望スルナレド
 若シ佛清事件ノ騒ギイヨク大トナリテ歐亞ノ二大國
 必死ノ鋒チ交ユルノ日トナリテハ滿世界ノ人ノ耳目モ
 皆ナクノ佛清事件ニ注シテソノ評判取沙汰ハ益々高
 ク特ニ二國ノ戰事結着スルメデハ三四箇月ヲ要シ半
 箇年ヲ要シ延テ一年二年ニ及ブトモナラバ我日本ノ
 支那談判ハ其際中ニ在リツ、ドレホドノ満足ヲ得タリ
 トモソノ附々唯僅ニ東洋島嶼ノ一隅ニ止マリテ直
 チ世界ニ表明シ冤チ世界ニ雪メ得タルノ憂ハ無キヤ
 如何ノ我輩ノ心切ニ安シセザル所ナリ去リテ我日本國
 ノ支那談判ハ半箇年ニテモ一箇年ニテモ佛清事件
 ノ悉皆片附クマテ延期シテ然ル上ニ懸合ヒニ及ブベシ
 ト云フホドマテ故意ニ義俠ヲ售リテ人ニ要ナキ遠慮ヲ
 爲スニモ及バズ又義俠ヲ售リ遠慮ヲナスハ可ナリトス
 ルモノノ間ハ世界ノ人モ此度日清ノ事件ニ日本ガ大
 ノ損辱ヲ蒙リタル次第ヲ忘却シテ日本ハソノ冤チヲ
 受ケタル儘、遂ニ我直チ表明シ得ルノ機會ヲ失スル無
 シト云ヒ難シ左リトハ國ニ取リテ甚ダ損失ナル大
 第ナレバ目下指點シ居ル支那談判ハ至急ニ之ヲ實行シ
 終リテ佛清事件ノ騒ギノ太甚タル其前コソハ雖然既ニ日
 清ノ事件ヲ落着セシメテ直チ表シ冤チ雪ムル策ヲナ
 スハ實ニ日本國ノ爲メニ大切ノ備ナリト信スルナリ

雜報

○**行幸餘聞** 前日見し奉りたる如く去る六日 聖上
 御行幸宮へ行幸遊ばされ給ひしが同宮には御老体に
 付小禮宮御先導にて御休憩所へ成らせ給ひ同所にて山
 階宮へ拜謁し仰付られ種々の御賜あり且つ同宮御附其
 他家扶從女等へも御物を賜はり夫より有栖川宮と始め
 皇族並に御息所、大臣等へ拜謁を仰付られ又同宮より
 御皇子、御料物を献上し畢て小禮宮の御先導にて舞
 樂御覽所へ成らせ給ひ萬歳、萬喜、大平、白濱、扶頭、還
 城等の舞樂を天皇遊ばされ一旦御休息所に入御せし
 し更ニ小禮宮御先導にて御食堂へ用御在らせ給ひ皇
 族、大臣、宮内卿等へ御陪食を仰付られ御餘興は養老
 殿下階、春日園、亂等の御料一調を天皇に入れ奉り且

陸軍樂隊の演奏も十分ありし
 ○**行啓** 前日の如く在らせ給ひ等なり
 ○**吉田外務大輔** 熱海の温泉に赴き
 ○**國書** 呈并内閣
 ○**内閣臨時會議** 大臣會議は内閣會議
 ○**岩崎彌太郎氏** 出なせしよし
 ○**西園寺公望氏** 任をとの附あり
 ○**公使館** 祝宴
 ○**伊東祐兵氏** 臨時乘組被差免給
 ○**故澤野大佐** 故海軍大佐正五等勳章
 ○**吉村實太郎氏** 書記官に去る五日
 ○**博覽會事務官** ヤンス府萬國工業
 ○**和田垣三氏** 自今三級月俸下
 ○**倍行社の盛衰** 後七時より社長
 ○**員九百名** 集合して

F U J I H : C R O S A F E T Y A N